

12:00 アイソトープ実験施設 見学

13:00 共同研究拠点 代表挨拶

13:15 研究内容紹介 (1若手:7分、通常・2共同研究者代理・3WebEx:5分、
4受入研究者代理:3分)

13:15 セッション1(座長:古川)

- 13:15 佐藤 志彦 1 福島第一原発近傍で採取した土壌に含まれる放射性粒子の実態
解明
- 13:22 Ismail Md. Development of a new technique for selective separation of long-
Mofizur Rahman lived radionuclides
1 using molecular recognition technology
- 13:29 田中 万也 安定セシウムから見た放射性セシウムの環境挙動の理解
- 13:34 北 和之 大気粒子から植物への放射性セシウム移行可能性の実証実験
- 13:39 松崎 浩之 2 加速器質量分析による²³⁶U測定法の開発及び福島原発周辺土壌
中のウラン濃度測定
- 13:44 宇都宮 聡 4 最先端電子顕微鏡法を駆使した微細鉱物に含まる放射性核種の性
状とその挙動に関する研究
- 13:47 高橋 嘉夫 2 河川-河口-海洋系での放射性セシウムの挙動
- 13:52 Núria Assessment of long lived radionuclides (¹²⁹I, ²³⁶U and Pu
Casacuberta isotopes) in the coast off Japan 5 years after the Fukushima Dai-
Arola4 ichi Nuclear Accident

13:55 休憩

14:05 セッション2(座長:有吉・田副・岩岡)

- 14:05 城間 吉貴 1 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンターを用いた水中ラド
ン濃度の精密測定システムの構築
- 14:12 荻部 甚一 4 請戸川流域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射
性ストロンチウムの空間分布
- 14:15 山形 武靖 4 トリプル四重極型ICP質量分析計を用いた¹²⁹I測定法の開発
- 14:18 赤田 尚史 極低濃度トリチウム計測手法を用いたトリチウム計測用バックグラ
ウンド水の検討
- 14:23 中田 章史 高線量汚染地域に生息する野生生物の染色体を指標とした放射線
影響評価
- 14:28 阿部 悠 1 染色体凝縮阻害剤を用いた新規細胞遺伝学的線量評価法の確立
および自動解析ソフトによる二動原体染色体解析効率の改善
- 14:35 熊本 雄一郎 海域モニタリング試料を利用した2011年5月の福島県沿岸域におけ
る原発事故由来放射性セシウムの分布再現
- 14:40 Jian Zheng 4 Distribution of hard-to-detect Pu and Cs-135 isotopes in early
stage monitoring seawaters after the Fukushima nuclear accident
- 14:43 立田 穰 4 魚類胃内容物中堆積物の¹³⁷Cs/²¹⁰Pb濃度比による陸域起源粒
子の推定手法
- 14:46 青山 道夫 4 日本沿岸域における東電福島第一原発事故起源放射性セシウム
の再循環の研究
- 14:49 鈴木 正敏 福島原発事故に被災した野生ニホンザルの臓器別DNA損傷の定量
解析
- 14:54 猪股 弥生 4 最適内挿法による北太平洋における放射性セシウムの分布の時空
間変動及びその輸送速度の見積もり
- 14:57 齊藤 敬 3Dプリンタと3Dスキャナを利用したガンマ線測定用基準線源の開
発
- 15:02 津旨 大輔 4 福島第一原子力発電所から⁹⁰Srの海洋への漏洩率の推定および
挙動解析
- 15:05 真田 哲也 可搬型液体シンチレーション計数装置を用いたラドン濃度測定法の
開発と北海道内の温泉・鉱泉中ラドン濃度と環境動態研究

15:10 神田 穰太 4 福島沿岸海域における高線量粒子の海洋生体系影響に関する研究

15:13 休憩

15:35 セッション3(座長:加藤・坂口)

- 15:35 二宮 和彦 3 福島県川俣町で採取した土壤中の放射性ストロンチウム移動度の決定
- 15:40 高田 モモ 4 銅置換体プルシアンブルー不織布を用いた森林土壤中の溶存態放射性セシウムの移動メカニズムの解明
- 15:43 脇山 義史 1 除染地を含むさまざまな土地利用における土砂および放射性セシウム流出プロセス
- 15:50 辻 英樹 4 銅置換体プルシアンブルー担持不織布による林内雨中の溶存態放射性セシウムの現場濃縮装置の開発
- 15:53 金指 努 イメージングプレートを用いた樹皮表面の高濃度放射性物質の消失速度と実態の解明
- 15:58 谷口 圭輔 4 福島県内の河川における放射性セシウムの形態別移行状況の把握
- 16:01 阿部 善也 3 放射光マイクロビームX線分析による福島第一原発事故由来の放射性粒子の性状・起源解明
- 16:11 田林 雄 4 中程度汚染地域における森林内の¹³⁷Csの移行過程の解明
- 16:06 Mark Zheleznyak 3 Model based assessment of the impacts of the decontamination activities on river watershed on ¹³⁷Cs concentrations in river water: case study Niida River
- 16:14 Anthony Parsons 4 Developing RFID technology for monitoring contaminated soil
- 16:17 Olivier EVRARD 4 Tracing the sources of contaminated sediment stored in dam reservoirs of Fukushima coastal catchments
- 16:20 Frédéric COPPIN 4 Interdisciplinary Project on Environmental Transfer of Radionuclides: number FY2016

16:23 休憩

16:35 セッション4(座長:関口)

- 16:35 青山 智夫 陸域の放射性物質の環境動態の長期予測
- 16:40 岡田 往子 4 関東地方とEU圏の環境放射能データの比較による福島原発事故環境影響及び地球環境変化の評価
- 16:43 山口 直文 陸上に遡上した津波による時系列堆積過程の解明
- 16:48 町田 学 輸送現象から理解する異常拡散
- 16:53 伊藤 芳樹 ドップラーソーダとAWS用超音波風速計による乱流計測手法の開発
- 16:58 若月 泰孝 福島第一原発事故に伴う放射性物質の沈着過程と降水に関する研究
- 17:03 Zhu Qing 4 Determining the pathway and quantity of soil radioactive materials losses at plot and catchment scales
- 17:06 Olivier Masson Observation of atmospheric radioactive cesium and its wet deposition and modelling of resuspension and deposition processes

17:15 総合討論

17:30 観測圃場見学

18:00 懇親会